

学位請求論文要旨

中国社会における朝鮮族女性のライフコースと
アイデンティティに関する研究
—韓国出稼ぎ女性に対する調査をもとに—

2021年7月

城西国際大学大学院 人文科学研究科

比較文化専攻

曹 美蘭

1. 研究の背景

中国朝鮮族は人口 183 万人（2010 年人口センサス）の少数民族であり、その大多数が中国の東北三省（黒竜江省、吉林省、遼寧省）に居住している。1992 年に中国と韓国が国交を樹立して以来、中国朝鮮族は親戚訪問、研修、ビジネスを目的とする韓国訪問が可能になった。そのため、厳寒の中国東北地方で主に農業に従事していた中国朝鮮族は、韓国での一攫千金を夢見て、あらゆる手段を尽くし韓国への道を拓いた。不法滞在で 10 年以上韓国に残った人々も少なくなかった。こうした韓国出稼ぎブームの中で、一際目立つのが 45～65 歳の女性である。この世代の中国朝鮮族女性は、社会主義中国の男女平等、女性解放政策の下で、男性と肩を並べて働きながらも「男は外、女は内」という儒教思想に従って、家庭と職場における二重役割を果たしてきた。中国に移住した中国朝鮮族女性は、中国における漢民族女性や、韓国在住の韓国人女性とは異なった価値観を有しているのではないかと、というのが本研究の問いである。

中国朝鮮族に関する先行研究の蓄積は多いとは言えないものの、今世紀に入ってから人口移動や、出稼ぎによる家族の分離と適応、韓国政府の移民政策の変遷、トランスナショナルな朝鮮族家族の実態に関する研究が進み、そして中国漢民族女性や韓国人女性の就労意識にも関心が寄せられてきている。しかし、中国朝鮮族社会や家族における女性の役割及びそのライフコースやアイデンティティに関する全容は明らかにされていない。そこで、本研究はジェンダー社会学の視点から、中国から韓国に移住した朝鮮族女性のライフコースに焦点を当て、彼女らの女性としてのアイデンティティ（就労、家族意識等）及び国家アイデンティティを明らかにすることを目的に据えた。その上で、以下の 5 つの問いを立てた。第一に、中国朝鮮族女性のライフコースの特徴や意識、つまり、彼女らの就労意識および家庭における母親や妻としての役割意識、自立意識（主に経済自立）には如何なる特徴があるのか、そしてその原因は何かを明らかにすること、第二に、中国朝鮮族女性の就労、家庭、社会におけるジェンダー関係、そしてこれらの領域の相互の関係性について検討すること、特に、中国朝鮮族女性の出稼ぎ就労が彼女たちの家庭及び社会における伝統的ジェンダー関係のバランスにどのような変化をもたらすのかについて考察を行うこと、第三に、このような朝鮮族女性の出稼ぎ就労が朝鮮族社会に与えた影響を明らかにすること、第四に、既存の移動理論及び女性移動理論では、中国朝鮮族女性の移動行為すべてを解釈し得るのか、を究明すること、最後に、韓国・北朝鮮（朝鮮半島）と同じ祖先で、同じ民族である中国の朝鮮族女性の国家アイデンティティを明らかにすることである。

2. 研究方法

本研究では、文献研究に加え、まず、中国朝鮮族が最も集中して居住している中国東北地方における朝鮮族村（黒竜江省中星村）の現地調査を踏まえて、中国東北地方に戸籍を有する韓国出稼ぎ朝鮮族女性のライフコースや就業意識等を問うアンケート調査とインタビュー調査を実施した。アンケート調査とインタビュー調査はともに、2018 年 11 月～2019

年1月までの三か月に渡り行った。アンケート調査対象者は98人で、その全員が在韓国朝鮮族出稼ぎ女性で、インタビュー調査対象者は、在韓国中国朝鮮族出稼ぎ女性17人と在中國朝鮮族女性3人（調査時点で45～65歳）、合計20人である。

3. 調査から得られた知見

調査を通じて得られた知見は以下の11点にまとめられる。

- ① 中国朝鮮族女性の子育てのスタイルは、居住地により異なる。農村部では「自分で子育て+農業生産」のスタイルが主流で、都市部では子どもが2,3歳までは「親の手伝い+仕事のスタイル」が主流である。
- ② 中国朝鮮族社会において、農村部では都市部より「男女有別」、「男は外で女は内」というジェンダー意識の根強いこと、また韓国社会及び中国朝鮮族社会ともに現在もジェンダー役割意識が根強く残っている。
- ③ 中国朝鮮族女性は中国の一人っ子政策時代に、少数民族として二子を持つことが認められていたが、7割近くは一人っ子を選択した。これは韓国型・中国型家父長制の「男子優先」、「男子=跡継ぎ」の思想から抜け出した中国朝鮮族女性の自立・独立した生育観の表れとみられる。
- ④ 中国朝鮮族女性の韓国出稼ぎは、「自主的な選択」（李・殷 2018）が主流とはいえ、家庭によっては、頼れる人脈のない朝鮮族女性の家族の生計のための出稼ぎ、つまり、「仕方ない選択」、あるいは「消極的な自主選択」である。
- ⑤ 中国朝鮮族女性は、韓国での厳しい労働生活の中でも、「明日の為に労働を生きる」という信念を抱く。夫や子どもに依存せず、経済・精神・人格において自立して生きる在り方が、朝鮮族女性のアイデンティティの中核である。この背景には、社会主義中国における就労観の影響があると考えられるが、その検証は今後の課題である。
- ⑥ 中国朝鮮族女性は、韓国への出稼ぎ就労により経済力を持ち、家庭内での地位が向上した。これは、「男は外、女は内」、「家事は女の天職」というジェンダー役割からの解放を意味する。朝鮮族女性のフェミニズムの成果といえる。つまり、女性が経済力を持つということは、女性解放の最も重要な要因である。
- ⑦ 中国朝鮮族女性は、子どもには、「親の愛」が最重要で、「愛に欠けて育った子どもは心身共に健康に育ち難い」という子育て観を持つ。貧しさも背景となり、子どもへの物質的な授与よりも精神的ケアを重視している。
- ⑧ 中国朝鮮族女性の長年の出稼ぎによる夫婦別居は、夫婦関係の危機をもたらすことが多く、中国在住の朝鮮族夫婦よりも離婚や家族の崩壊に繋がる例が多いことが明らかになった。
- ⑨ 中国朝鮮族女性の国家アイデンティティは「中国人」であることが明らかになった。中国朝鮮族は、祖先の国、自身のルーツを探る気持ちで韓国に向かうが、韓国社会における中国朝鮮族への偏見と差別に晒されることで、当初の民族感情が次第に失われてい

く。韓国に居住する過程としてのアイデンティティを再確認するプロセスが見出された。

⑩ 中国朝鮮族社会において、農村部と都市部では子育てスタイル、ジェンダー役割意識には差異が見られるものの、朝鮮族女性の生育観、就労意識、家族観、国家アイデンティティには差異が見られない。特に「労働を生きる」、「経済的、精神的、人格において自立して生きる」朝鮮族女性のアイデンティティは、農村部と都市部で共通している。

⑪ アンケート調査において、調査対象の2人が「夫婦関係が悪いから韓国に出稼ぎに出ている」と答え、インタビュー調査では「夫婦関係の悪化を回避するために移動を決意した」一人の女性の語りが得られた。婚姻崩壊回避移動について、今後は数量的な裏付けを基に検証することが課題である。

4. 結論—中国朝鮮族社会における家父長制の変容（ジェンダー秩序再構築論）

以上、本研究において明らかになったことを踏まえて、本研究がジェンダー理論にいかなる貢献をなし得るかについて言及する。

調査を通じて、中国朝鮮族女性らの最初の来韓時期、単身での来韓状況を明らかにし、子育てにおいては、子どもの成人前に出稼ぎを選択したこと、そして、「親孝行」においても「経済的援助はしていても、世話はしていない」実態を把握した。韓国出稼ぎは中国朝鮮族女性の伝統的なライフコースを変えてしまい、中国朝鮮族社会における儒教思想に基づく「男女有別」、「男は仕事、女は家事」等のジェンダー役割意識によって特徴づけられる韓国型家父長制は大きく変容した。つまり、韓国出稼ぎブーム以降の中国朝鮮族社会においては、女性主導型の家庭が次第に多くなり、朝鮮族社会はジェンダー秩序の再構築時期に入っていると結論付けられる。

5. 本研究の意義と残された課題

本研究は、中国朝鮮族社会及び朝鮮族女性に関する先行研究の蓄積が少ない中で、移動する女性のライフコースや意識を明らかにした。それは、その社会の理解に不可欠な視点を提供するものであり、エスノグラフィー及び移動学・ジェンダー社会学研究に持ちうる学術的、社会的意義があると考えられる。とはいえ、調査対象者数が限定されていたため、本研究の結論を一般化することはできない。今後の課題として、より調査対象者数を広げた再調査を行う必要がある。そして、実証データを基にして、「女性の移動理論」の再検討を行うことも今後の課題である。また、中国・韓国・中国朝鮮族女性の比較研究や中国朝鮮族男性を対象とする研究へと繋げていくこととしたい。

6. 論文の構成

序 章 問題提起

第一節 研究の目的と意義

第二節 研究方法

第一章 中国朝鮮族の歴史及び現状

- 第一節 中国朝鮮族の歴史
- 第二節 中国朝鮮族の現代の移動－1980年代以降
- 第三節 中国朝鮮族女性の移動
- 小 括

第二章 研究の理論的枠組み

- 第一節 移動の理論整理
- 第二節 ジェンダー理論
- 小 括

第三章 先行研究

- 第一節 中国朝鮮族のアイデンティティに関する研究
- 第二節 中国朝鮮族の移動に関する研究
- 第三節 中国朝鮮族の出稼ぎに関する研究
- 第四節 中国朝鮮族女性の移動に関する研究
- 第五節 本研究の位置づけ

第四章 現地調査及び中国朝鮮族の韓国出稼ぎ女性に対するアンケート調査

- 第一節 現地調査：朝鮮族村－中星村における調査
- 第二節 中国朝鮮族の韓国出稼ぎ女性に対するアンケート調査
- 小 括

第五章 中国朝鮮族の韓国出稼ぎ女性に対するインタビュー調査

- 第一節 調査の概要
- 第二節 調査方法
- 第三節 調査結果及び考察
- 小 括

第六章 考 察

- 第一節 婚姻崩壊回避移動説
- 第二節 中国朝鮮族女性のライフユースの特徴
- 第三節 中国朝鮮族女性のアイデンティティの中核
- 第四節 中国朝鮮族社会におけるジェンダー秩序の再構築
- 第五節 中国朝鮮族女性と朝鮮族社会
- 第六節 中国朝鮮族女性の国家アイデンティティ

終 章 結論と今後の課題

- 第一節 本研究で得られた知見
- 第二節 結 論
- 第三節 今後の課題

参考文献

付録

付録 1：図・表タイトルの一覧

付録 2：中国朝鮮族 400 年の移住史年表

付録 3：「中国社会における朝鮮族女性のライフコースとアイデンティティに関する研究」アンケート調査票